

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和 7年 3月 31日

(あて先)松本市長

(申請者) 神林町会連合会

1 交付決定額

I	金 600,000 円
---	-------------

2 本年度実績の報告

① 本年度の交付金事業の報告

① 事業名: つながりの場づくり推進事業				
実施主体	神林地区まちづくり協議会			
実施日(期間)	令和6年4月1日～令和7年3月31日			
実施場所	神林地区			
事業概要	高齢者が歩いて行ける距離での、誰もが気楽に集まり話せる場、趣味を楽しむ・情報収集の場、健康増進・介護予防に取り組む場として、パイナップルカフェを10回、住民主体による、みんなのえんがわを10回、いきいき百歳体操は週一回程度開催。毎月1回開催の子ども食堂「ヒッポポ食堂」への支援を行った。			
地域づくりの成果・効果	様々な機会を通じて、住民同士の交流を活性化し、共に支え合い助け合う、顔の見えるつながりの場づくりを推進			
課題	新規参加者の掘り起こしと魅力あるプログラムの企画立案			
決算額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
		131,524 円	70,000 円	円 61,524 円

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名: 子ども育成事業				
実施主体	神林子ども会育成会			
実施日(期間)	令和6年7月1日～令和7年3月31日			
実施場所	神林地区			
事業概要	7月21日(日)にさかなつかみ大会、11月3日(日)にお楽しみゲーム大会、12月15日(日)に「正月飾りづくり講習会」を開催。			

地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	さかなつかみ・お楽しみゲーム大会は、多数の参加者により賑やかに開催できた。講習会は伝統的な正月飾りを体験した。子どもたちの地域への愛着を高めるとともに、子どもを地域で育む意識が高められた。			
課 題	子どもの自主性をさらに高めるような運営の工夫が必要。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	6,022 円	5,000 円	円	1,022 円

③ 事業名：ぐるっとまつもとバス利用促進事業				
実 施 主 体	神林地区まちづくり協議会			
実施日(期間)	令和6年7月1日～令和7年3月31日			
実 施 場 所	山形村～神林～南松本～松本市内			
事 業 概 要	「バスdeお買い物」、「バスdeさーかす」、「バスdeおでかけ」を称した、ぐるっとまつもとバス(南松本・山形線、神林ライナー、空港今井線)のバスツアー(体験乗車会)を実施。			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	ぐるっとまつもとバスの利用率を図るため、乗車体験が、住民への一番の周知策として、バスツアーを企画実施し、バスへの関心を高めるとともに、路線の周知を図った。			
課 題	利用率が低迷した「神林ライナー」は、残念ながら廃線の対象となり、大久保工場団地線の神林地区へ路線で対応することになった。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	26,790 円	20,000 円	円	6,790 円

④ 事業名：神林公民館・体育館避難所運営整備事業				
実 施 主 体	神林公民館・体育館避難所運営委員会			
実施日(期間)	令和6年8月1日～令和7年3月31日			
実 施 場 所	神林公民館・体育館			
事 業 概 要	平成28年に設置された神林公民館・体育館避難所運営委員会による避難所運営のための防災資機材を整備したもの。 今年度はスポットクーラー3台等を購入。			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	12月1日に開催した避難所運営委員会では、防災資機材の点検、防災倉庫の整理と棚卸を行い、倉庫保管の資機材、防災用品のリストを作成した。あわせて、新たな防災用品の内覧会を実施した。			
課 題	引き続き、防災資機材の計画的な整備を推進する。また、地域住民の安否確認訓練など実際に即した訓練手法の検討が必要。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	557,733 円	360,000 円	円	197,733 円

⑤ 事業名：地域活性化事業				
実 施 主 体	神林公民館、神林地区まちづくり協議会			
実施日(期間)	令和6年8月1日～令和7年3月31日			

実 施 場 所	神林地区			
事 業 概 要	7月15日に住民有志による巨大カステライベントを開催。9月8日はスポーツフェスティバル、10月22日は第52回となるふれあい文化祭を開催。また、今年度開催100回を迎えた「男性の料理教室」の記念事業として、記念レシピ集を発行。			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	神林らしさをPRするイベントの開催により、子どもから高齢者までの幅広い年齢層の参加を通じて、世代を超えた住民間の交流を図りました。			
課 題	幅広い年代の住民が地区行事に関心を持っていただくような、きっかけづくりとして、様々な事業へ展開を図りたい。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	176,387 円	45,000円	円	131,387 円

※ 事業が4以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

決 算 額 (計) (①+②+③)	A+B+C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	898,456 円	500,000 円	円	398,456 円

A : 各事業のaの合計額

B : 各事業のbの合計額

C : 各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名： 公民館報合冊版発行資金積立事業					
積 立 目 的	「神林公民館報400号合冊版」を令和7年度に発行するための費用を積み立てる				
積 立 期 間	令和 5 年度から 令和 7 年度まで（本年度 2 年目）				
積立ての 目標金額	300,000 円				
積 立 実 績	区分		積 立 額	積立事業への 積立金充当額	差 引 累 計
	前年度 までの 積立経過	1年目	100,000 円	0 円	100,000 円
		2年目	100,000 円	0 円	200,000 円
		3年目	円	円	円
		4年目	円	円	円
		5年目	円	円	円
	本年度の積立実績		D 100,000 円	E 0 円	F 200,000 円
	合 計 額		200,000 円	0 円	
本年度積立金を充当して実施した事業の概要					
実 施 主 体					
実施日（期間）					
実 施 場 所					
事 業 概 要					

地域づくりの 成果・効果			
決 算 額	E + G	財 源 内 訳	
		E	G
充当後の積立事業取扱方針			
積立継続(年度まで)・廃止			
廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法			

E：充当した積立金の額

G：その他の財源の額

※ 事業が2以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	円
-------	---	---

[参考]繰越上限額 = $I \times 2 / 10$

3 添付書類

- (1) 事業実施が確認できる資料(チラシ・パンフレット、写真、新聞記事等)
- (2) 積立をおこなった場合は、松本市地域づくり推進交付金積立承認通知書の写し